

新年に寄せて

新しい令和3年となりました。祝詞を申し述べたいところですが、猛威を振るう武漢コロナを前にしては、祝ぎの言葉も喉に詰まります。本当に去年は散々でした。新年になつてもその勢いは止まる所なく、増え流行の兆をみせています。もう今は、感染も他人事でなく、いつ施設の関係者が罹患するかと戦々恐々としているのが現状です。しかしながら恐れてちぢこまってばかりいても面白くありません。

昭和学園のような入所施設は原則として外部世界との往来を断つておりますので、園内のいろいろな催しを盛大にやつております。もちつき大会、ふく笑い、ドライブ（乗ったままで外では降りない）等です。火災発生時の避難訓練もります。でも物は考え方です。昨年のインフルエンザによる死者数（コロナを含む）は、一昨年のそれより減っているそうです。あれ？ そう言えば、欧米に比べ日本は人口比で罹患率と死亡率が極端に低いですけど、そこはまあ不安全感を煽った方が、新聞も読み手が多くなるしニユースも聴き手

ですね。患者の死亡率は、1.1%で死者の内95%は65歳以上の老人となりや、これはこれほど大騒ぎするほどのことかなという気もします。感染力の強いインフルエンザが流行している位に考えて、予防策をこまめに行つていのが望ましいスタイルかも知れません。東京オリンピックは？：そりやわかりません。中止になつたらなつたで、プラスの方も考えりやいいでしよう。数兆円もの経費が浮くことだし、ミュンヘンオリンピックの時のように悲惨なテロが発生していたかもしけないし、大体、平和だの友好スポーツだのにお金をかけ過ぎですよね。コロナ禍で医療崩壊とか言っていますが、冗談言つてはいけません。苦しいのはコロナ患者を入院させている

が増すというものなんでしょう。最近の大雪情報（西日本の）や大雨情報、大風情報の様に気象台の流すのは少し誇大気味ですがニユースとはそういうものかもしません。何か新年の話らしからぬ風情のものとなりました。しかしいずれ朝の来ない夜はない。冬が来れば必ず春が来るのですから、今は耐えて冬をしのぐのが第一と考えております。明るい話題を言えば、今年の7月で法人設立、昭和学園開園以来、丸三十年になります。30年記念の催し事や、種々の会報、記念誌、紀要等の発行も企画しておりますので、それぞれ職員、保護者の皆様にも執筆依頼が来ると思ひますので、その時は、よろしくお願ひします。

7月3日の記念パーティーの時までに、コロナが終息していなければ形だけの簡素な式をすることがあります。それまでに収まるよう、天照大神とお釈迦様とイエスキリストとエホバの神とアラーの神、その他諸々の神々に祈願しておきましょう。

(楠
峰光)



第151号

発行所
社会福祉法人玄洋会
指定障害者支援施設
昭和学園
〒811-3522
福岡県福津市奴山616
TEL (0940) 52-4686
<http://www.genyoukai.or.jp/>
E-mail: syouwa@mocha.ocn.ne.jp
福岡県障害児等療育支援事業
【地域支援室】
児童・学童発達支援事業「さくら」
日中一時支援・短期入所受付
TEL (0940) 52-8551

障害福祉サービス事業所
【やまと更生センター】
福岡市東区知的障がい者
相談支援センター
福岡市東区三苦8-105-1
TEL (092) 607-3778

児童発達支援センター・障害児通育事業
【障害子ども相談センター】
糟屋郡篠栗町尾尻1100-3
TEL (092) 948-4468

障害福祉サービス事業所
【疾千鳥】
宗像市神湊118-4
TEL (0940) 62-1167

共同生活援助事業
【ケアホーム若杉】
糟屋郡篠栗町中央6丁目32-1
TEL (092) 931-5011

障害福祉サービス事業所
【宝満】
糟屋郡柏原町酒殿1-23
TEL (092) 652-1005

児童発達支援センター
【福祉児童発達センター・さくら】
福津市福間南3-5-8
TEL (0940) 42-1235

【ゆうゆうぶらざ】
宗像市神湊118-4
TEL (0940) 62-5777

共同生活援助事業
【グループホーム安ら居】
福津市奴山603
TEL (0940) 62-5056

編集責任 山田 正道

各事業所から新年に寄せて

新年明けましておめでとうございます。

私たちは今までにないお正月を迎えるました。はじめてお一人でお正月をお迎えになった保護者の方もおられることがあります。そんな昭和学園では年越しを自宅で迎えることができなかつたみんなにほんの少しでもという思いでお正月大作戦を実行しました。ポカリスウェットのおとそ、お年玉、東郷神社のおみくじ。おせち料理は毎年のように食べきれないほど豪華です。

お年玉の中身はというと5円玉に千円札、貳千円札、五千円札、壹萬円札、金塊まで。皆で味わつて食べました。一日も早いご家族の再会を願つております。

(昭和学園 紹賜)

昨年は突然の学校休校から始まり、長い春休みを経て、学校が始まつたら分散登校と、新型コロナウィルスに振り回された1年でした。例年とは違う生活様式となりマスクの着用、手洗いの励行を職員と子どもたちには呼びかけてきました。子どもたちにとっては我慢の年となつたかもしれません、が、様々な問題に直面しながらも忍耐強く適応していく子もたちを見て、子どもたちの成長を強く感じました。

今後も感染症対策を行いつつ、環境を整え、充実した支援を行い、寄り添つた対応ができるように努めてまいります。

(昭和学園) 中村し)

たくさんの方々の協力のもと、利用者、職員とも健康に新年を迎えることができました。昨年は外出自粛の中、三密を避けながらも「つながりを絶やさない」をキーワードに支援を行つてきました。離れていても密に連絡を取り合い、この状況をみんなで乗り越えていきたいと思っています。これからも衛生管理、体調管理に努め、みんなが充実した毎日が過ごせるよう、安ら居職員一同、支援に努めてまいります。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

(安ら居 市津)

我慢の時が続いておりますが、子どもたちは負けずに元気いっぱいです。私が着任したての頃はそのエネルギーに圧倒されたのを覚えています。初めて会つた時は小さかつた子どもたちが、立派なお兄さん・お姉さんになつています。子どもたちは成長に伴い進学・就労などの新たなライフイベントを経験することになります。我々職員も、その子その子のライフステージに合わせた支援ができるよう、より一層研鑽を積みたいと考えています。本年もよろしくお願ひいたします。

(福津子ども発達センター 山根)

例年とは違つ雰囲気の中で迎えた新年ですが、浜千鳥は常と変わらず活気に満ちています。コロナ対応の為に臨時に整えた態勢が常態化する中、活動態勢等の変化に利用者の皆さんは当初から柔軟に受け入れができており、日々、笑顔で過ごしています。福岡県が2度目の緊急事態宣言の対象地域に加えられる等、予断を許さないコロナ情勢ですが、緊張感を持つつも、明るく楽しい日中活動の場作りを心がけ、利用者の生活が豊かなものとなるよう支援に取り組んでいく所存です。

昨年は、新型コロナ感染症でのうつゆうふうじでの事業が中止・自粛となり、施設の利用が激減しました。大変じ迷惑をおかけしました。

ゆうゆうふうじは、感染防止対策を十分に行い、地域公益事業として、高齢者・子育て相談会や心理劇の勉強会の開催をしたいと思っています。ま

た地域にも施設の一部を提供し氣功教室、ヨガ教室開催などを行つています。その他にも法人の夏祭り、各団体のキャンプ、災害時の避難所になつています。今年も法人の皆様、地域の方々にとつて気軽に利用できる施設を目指します。

(ゆうゆうふうじ 河野)

(浜千鳥 野元)

昨年末からコロナ禍で暗いニュースばかりが続きましたが、今年は明るい1年になることを望んでいます。

1月4日（本年初日）利用者が来所。社会はコロナ禍で変わりましたが、利用者の笑顔、元気な姿は、館内が活気づきほつとした気持ちにさせてくれました。普段の生活に早く戻れることを切に願いながらも、利用者の笑顔や希望を絶やさない様に職員一同、工夫を凝らし充実した日々になる様に、努力して参ります。今年はどうぞよろしくお願ひします。

（宝満 山田ひ）

昨年は、「コロナ」一色の1年で、子どもたちが楽しみにしていた外出や調理活動も自粛し、室内での活動が主となりました。今までと大きく環境が変わった1年でしたが、そんな変化にも負けず、子どもたちなりに日々を受け入れ過ごしている姿に、一人一人の成長をとても感じました。放課後等ティーサービスやまとは、本年度をもって閉所となります。しかし、保護者の皆様にとって安心して楽しく過ごせる場所でいられるよう、職員一丸となり努めていきたいと思います。

（ティーサービス 智原）

目に見えず、得体のしれない新型コロナワイルスの世界的な流行により様々な変更や中止を余儀なくされて一年。現時点では利用者やご家族の皆様、職員が元気に生活することができます。ここに「感謝」したいと思います。当たり前を当たり前でできない日々が続いていますが、命あっての物種。感染症予防対策を講じながら、コロナ禍を充電期間と捉え、「今できること」

を楽しみたいと思います。そしてコロナが終息した暁にはコロナ禍でできなかつたことを満喫したいと思います。

（ケアホーム若杉 中嶋）

新型コロナに関することを本やインターネットなどでいろいろ調べていくと外国の事情、我が国の医療や社会体制、ウイルスと人類の関係など多くのことを知り、また、考えさせられことがあります。しかし、大変勉強になりました。しかし、日常生活での過ごし方は1年前とほぼ変わらない、むしろ厳しくなったと感じています。安心して生活できる日がくることを願うばかりです。

さて、新しい年が始まりました。気持ち新たに、利用者の人生を豊かにすることが私たちの役割であることを忘れず、心身ともに充実した毎日を送れるよう、今年も職員一同、業務に励みたいと思っております。

（やまと更生センター 松井た）

特集

令和祭（各事業所）

昭和学園

令和2年12月23日（水）ゆうゆうぱりざで「浜千鳥 令和祭」を開催しました。感染症対策として、施設入所組・在宅組に別れて発表を設ける運びとなり、当日は、ステージと観客席の距離を確保し、各組の発表後は、消毒を行は等、万全の体制で臨みました。施設入所組は「手洗いの紙芝居と劇」、在宅組は、「創作ダンス」を本番に向けて練習に取り組みました。本番では、練習の成果をしっかりと發揮し、終了後は、豪華な食事等を楽しみました。来年度は、早くコロナウイルスが終息し、玄洋会全体で令和祭が出来るように願っています。



浜千鳥

（昭和学園 中村ゆ）

界で一つだけの昔話」「山笠」と名々が、思考を凝らして出し物が演じられました。多目的ホールに移動して「全体ダンス」を行い、和室で昼食を摂り心身共に満腹になりました。昼食後は、新職員による出し物、職員での迫力ある「ソーラン節」最後は「コロナに負けないぞ」コールで幕を閉じました。

（浜千鳥 長嶋）

ケアホーム若杉

令和2年12月13日に令和祭の代替行事として「若杉お楽しみ会」をゆうゆうぶらざで開催致しました。コロナ禍の中、利用者の閉塞感を少しでも払拭し、楽しい時間を過ごしてほしいという目的で利用者だけでなく、職員も演物を行いました。昼食はハンバーガーセットを食べましたが、イベントということもあり特別にハンバーガーをもう一つ準備し「みんな頑張つてるので、今日は特別にもう一つハンバーガーがあります。」と伝えると拍手をして大喜びしていました。会自体は利用者代表によるはじめの言葉、国家斎唱、男性利用者による手品や輪投げ、女性利用者によるダンス、職員による手品や一人羽織と利用者だけでなく職員も大いに笑つて楽しい時間となりました。若杉職員だけでの行事開催でバタバタしてしまいましたが利用者から「楽しかった。」と言って貰えたことが何より喜ばしいことでした。現在はまだ、コロナ禍の中ですが様々な工夫を凝らしながら利用者の生活が豊かになるように努めたいと思っております。

地域交流

誕辰祭

(ケアホーム若杉 山本か)

12月22日（火）東郷神社にて、東郷元帥の誕誕を記念して「誕辰祭」が行われました。参加職員で「海ゆかば」「日本海海戦の歌」の2曲

を奉奏いたしました。私自身、身をもって歴史に触れる機会がほとんどなかつた為、このような形で歴史に触ることが出来てとても勉強になりました。危険を顧みず、日本の為に命をかけて戦つてくれた先人たちのおかげで、私たちが穏やかに過ごすことが出来ているということに改めて感謝したいと強く思いました。

(昭和学園 前田)

しめ縄作り

新しい年に向けて、東郷神社の注連縄づくりに昭和学園職員3名で参加させていただきました。地域の方々から直接ご指導を受けながら慣れない作業ではありますが、なんとか形にすることができました。このような日本の昔ながらの地域文化・伝統を若い世代にも伝えていかなければいけないと思ったのと同時に、その役割を担っていく存在にならなければならぬと強く感じました。

(昭和学園ティ 中村じ)

クリスマス会

令和2年12月25日（金）昭和学園にて月行事「クリスマス会」が行われました。イオンモール福津の方のご厚意により、クリスマスプレゼントを寄贈していただきました。たくさんの物をいただき、利用者の皆さんもとても喜んでいました。

イオンモール福津の方々、ありがとうございました。はじめに、「ぜったいにあけちゃダメ?」といふ絵本を題材としたパネルシアターを行ないま

寄付・寄贈有難うございます

・白石シモ様…壱金10,000円
前民生委員の白石様はいつも昭和学園には格別の御厚情をいただいております。有難うございます。

・保護者の多数の皆様より

お菓子・飲料・マスク等、それぞれ沢山いただきました。皆これらは利用者・職員への慰労、差し入れです。お父様お母様有難うございます。

した。陽気なキャラクターがどうにかしてクリスマスプレゼントを開けようとする物語に、声を出して笑う利用者の方もいました。プレゼントが小さくなったり大きくなったり、はたまた長く伸びたりする時に、利用者の方に前に出てきてもらひ、実際に指でなぞる作業をお願いしました。「なぞってくれる人！」と職員が尋ねると、最初こそ皆さん戸惑つていましたが、2回目以降は手を上げる方もたくさん出てきて、大盛盛り上がっていました。パネルシアターのあとは皆さんお待ちかねサンタさんの登場、プレゼント配りです。プレゼントをもらうとすぐに開けている人がほとんどで、笑顔で手にしていました。最後に写真撮影を行なつて、クリスマス会は終りました。その後のおやつの時間には、保護者会からのプレゼントのケーキを食べ、利用者の皆さん、とても満足しておりました。



玄洋会新入職員紹介 [昭和学園]

永松直子（生活支援員）

- ・出身地…北九州市門司区
- ・趣味…料理
- ・前職…アイランド共和国の知的障害者施設支援員
- ・抱負…利用者が安全で健やかな生活が送れるような支援を心掛けたいと考えています。

(昭和学園 谷口)